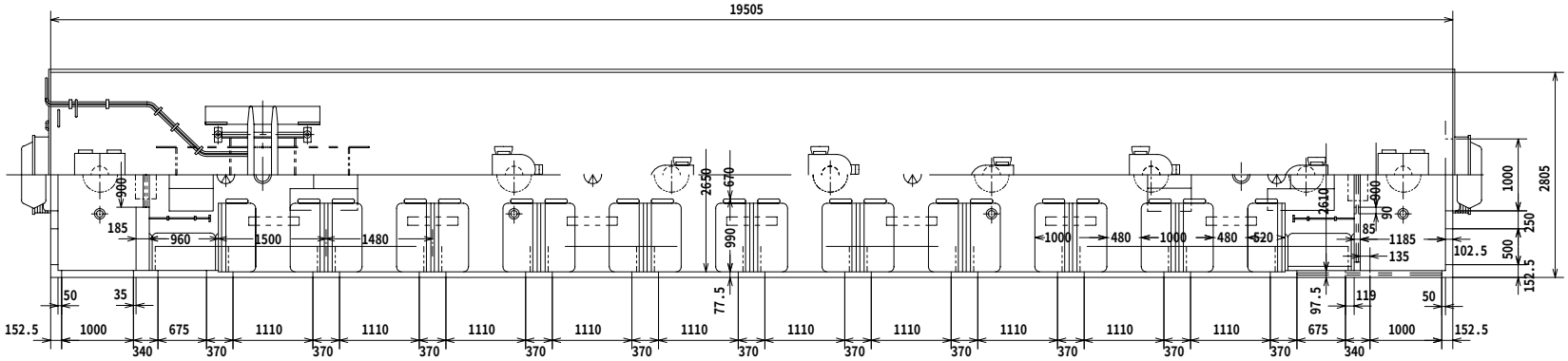
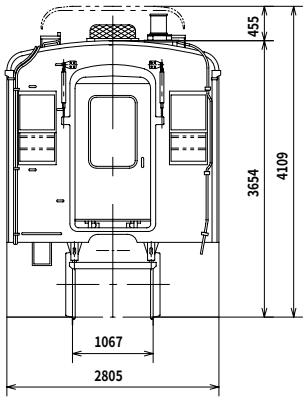
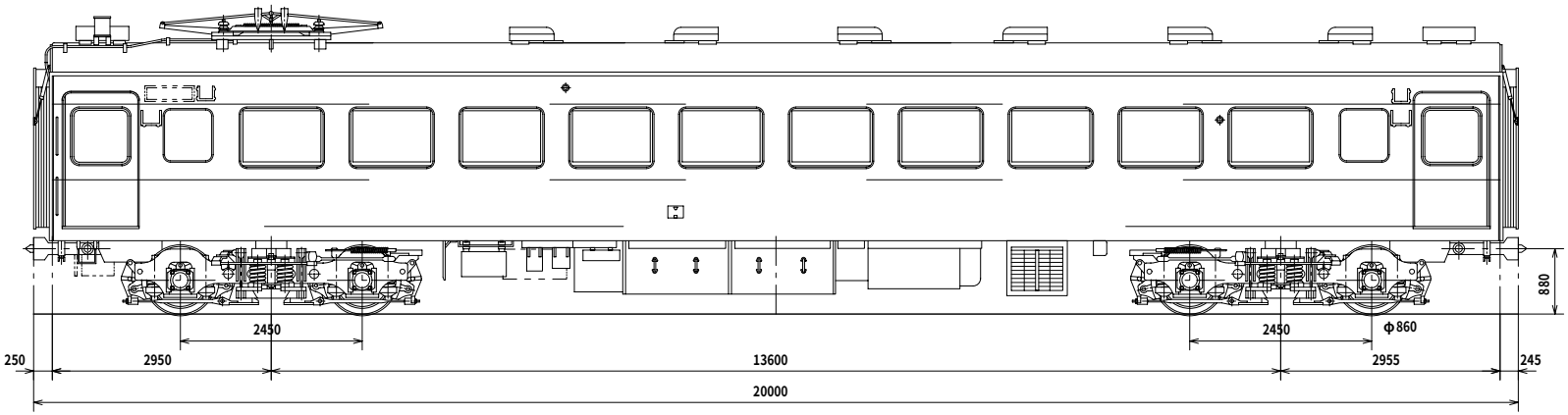
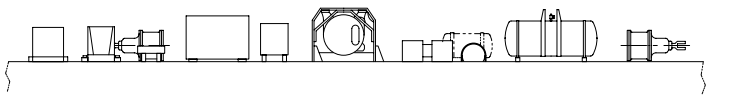
国鉄　モハ80型　形式図

1957年に製造された湘南型80系のラストグループ
従来の80系とは相当に変わった設計で、車体は全金属製となり、
シートの間隔も一般客車並み、窓も一段と大きく、ノーシルノーヘッダーとなった
そして使用範囲も湘南とは呼べないほど広くなり、
東京ー名古屋、名古屋ー大阪間の準急や夜行にも使われて、こだま、東海型が
出現するまでの東海道の花形電車として活躍した
なおこのグループは300番代ナンバーを付けて他と区別されている
クハ86、モハ80、サロ85、サハ87、の4形式、合計約240輌